

西暦 2025 年 2 月 10 日

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業 研究経過／終了報告書／成果報告書

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業
研究利活用委員会 委員長殿

所属医療機関 病院 司法精神診療部申請者 平林 直次

重度精神疾患標準的治療法確立事業（医療観察法データベース事業）において収集されたデータを用いて
行う研究について、

- ☒ 継続中につき、経過を報告します。
- ☐ 終了したので、結果を報告します（終了後の成果報告の予定 ☐あり ☐なし）。
- ☐ 終了後に成果を公表したので、報告します。

申請 番号	MTSA-007	研究 課題名	医療観察法対象者の類型化に関する研究
研究結果（経過）： データセットの受領後、分析のための加工、記述統計を行ったうえで、TwoStep クラスター分析を行った。 本研究は厚生労働科学研究の一環で実施したため、分担班会議で議論を重ねながら分析を進めた。 法施行日から 2021 年 6 月までに入院決定となった 3728 例のデータを用いて、SPSS による TwoStep クラ スター分析を用いた類型化を行った。入院対象者の特性や入院処遇の転帰から 12 個の基本類型が抽出さ れた。これらは将来の入院処遇ガイドラインで対象集団を定義する際の原型となるものである。 今後も、さまざまなパターンの類型化を行い、類型の精緻化、および類型ごとに有用な支援のための基 礎的知見を蓄積する。 成果は下記のとおり学術誌上で発表した。今後も学術の場での成果報告を予定している。			
上記公開に際しての希望： ☒ すぐに公開してよい。 ☐ 年 月以降に公開してよい。 ☐ その他（ ）			
研究利活用委員会に未報告の研究成果公表実績（学会発表、論文など）： ● 河野 稔明, 小池 純子, 竹田 康二, 壁屋 康洋, 曾雌 崇弘, 岡野 茉莉子, 藤井 千代, 平林 直次：医 療観察法データベースを用いた基礎的変数による入院対象者の類型化. 第 19 回日本司法精神医学会大 会, 東京, 2023 年 9 月 8 日 ● 小池純子, 河野 稔明, 竹田 康二, 岡野 茉莉子, 阿部 真貴子, 藤井 千代, 平林 直次：医療観察法入 院対象者における前科前歴のある者の特性について-医療観察法データベースを用いた予備的検討. 第 19 回司法精神医学会大会, 東京, 2023 年 9 月 8 日			

※事務局記入欄

初回申請

2022 年 11 月 18 日

初回承認

2022 年 12 月 16 日